

様式第4号(第7条関係)

簡易な収入見込額の申立書（申請者本人用）
【家計急変者】

- 「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）申請書（請求書）」と一緒にご提出ください。

○ 下記にある【要件1】及び【要件2】の両方を満たす場合に支給の対象となります。

※申請者と生計を同じくする扶養義務者などがある場合は、その方の年間収入見込額も勘案して支給を決定します。
- ①下記にチェック(☑)してください。

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少しました。
- 【要件1】①にチェックが入っていること。

※「申請者」または申請者と生計を同じくする「申請者の配偶者」や「同居している申請者の父母、祖父母、子、孫などの直系血族または兄弟姉妹」が新型コロナウイルス感染拡大の影響で、収入が減少した場合にチェックしてください。

※上記の申請者と生計を同じくする方がいる場合には、「簡易な収入見込額の申立書（扶養義務者等用）」も併せてご提出ください。

◎令和4年4月以降に児童扶養手当の受給資格者となった方（一部又は全部停止解除を含む）又は公的年金等受給者となった方で、今後1年間の収入見込額が児童扶養手当の対象水準となる方は、①にチェックを入れず、②以降に記入するとともに別紙申立書を提出してください。

※②には児童扶養手当の受給資格を有した月以降の任意の月の収入（1か月）をご記入ください。
- ②申請者の令和2年2月以降の任意の月の収入(1か月)の内訳及びその合計額をご記入ください。

令和__年__月		注意事項	
収入内訳	養育費【A】		※養育費の支給を受けている場合にご記入ください。
	給与収入【B】		※給与収入がある場合にご記入ください。 ※給与明細書などの収入額が分かる書類をご提出ください。
	事業収入又は不動産収入【C】		※事業収入又は不動産収入がある場合にご記入ください。 ※帳簿などの収入額が分かる書類をご提出ください。
	年金相当収入【D】 (a-b)		※「年金収入【a】－児童扶養手当相当額【b】」で計算した額をご記入ください。
	年金収入【a】		※公的年金収入(遺族年金・障害年金などの非課税年金等も含む。)がある場合にご記入ください。 ※年金決定通知書、年金額改定通知書、年金振込通知書などの支給額がわかる書類をご提出ください。
	児童扶養手当相当額【b】		※遺族年金・障害年金などの非課税年金等を有する場合、下段の児童扶養手当相当額早見表を確認いただき、該当する金額をご記入ください。
収入合計額 【A + B + C + D】			※太枠の収入額の合計額をご記入ください。
- ※上記以外の収入については記載不要です。

●児童扶養手当相当額早見表（月額）【b】

申請日時点での児童数	支給額（月額）
児童0人	0円
児童1人	10,160円
児童2人	15,250円
児童3人	18,300円
児童4人	21,350円
児童__人	円

※5人以上いる場合は、1人増えるごとに3,050円（月額）を加算してください。

×12
- ③②の収入合計額を12倍した金額をご記入ください。

年間収入見込額
- 扶養親族が1人の場合には、③が365万円未満であれば【要件2】を満たすため、④の記載は不要です。

（裏面に続きます）

④要件に該当するか確認してください。

(1) 以下のフローチャートにより、収入基準を選択してください。

属性	☐ 父母	☐ 父母以外の養育者
----	-----------------------------	-----------------------------------

↓

収入基準(A)

NO

以下いずれかに該当する児童の養育者ですか。
・父が死亡または生死不明かつ母がない児童
・母が死亡または生死不明かつ父がない児童
・母がなく、かつ、父が法令により引き続き1年以上拘禁されている児童
・母が婚姻によらないで懐胎した児童であって、母が死亡したもの又は母の生死が明らかでないもの
・父がなく、かつ母が法令により引き続き1年以上拘禁されている児童
・父母が法令により引き続き1年以上拘禁されている児童
・母が婚姻によらないで懐胎した児童に該当するかどうか明らかでない児童

YES

収入基準(B)

(2) 申請者が生計を同じくし養っている親族または養っている親族以外の児童の氏名をご記入ください。【☆】

収入基準(A)の方				収入基準(B)の方		
	フリガナ 氏 名	該当する場合は◎または○ 16歳以上23歳未満の親族 (◎)	70歳以上の親族、配偶者 (○)		フリガナ 氏 名	該当する場合は○ 70歳以上（配偶者以外） の親族
1				1		
2				2		
3				3		
4				4		
5				5		

(3) (2) でご記入いただいた方の人数にチェックをしてください。

(2) の人数チェック		基準額【(A)】	(2) の人数チェック		基準額【(B)】
✓	収入基準(A) の人数		✓	収入基準(B) の人数	
	0 人	3, 114, 000円		0 人	3, 725, 000円
	1 人	3, 650, 000円		1 人	4, 200, 000円
	2 人	4, 125, 000円		2 人	4, 675, 000円
	3 人	4, 600, 000円		3 人	5, 150, 000円
	4 人	5, 075, 000円		4 人	5, 625, 000円
	5 人	5, 550, 000円		5 人	6, 100, 000円
	__ 人	__ 円		__ 人	__ 円

※6人以上いる場合は、1人増えるごとに475,000円を加算した金額をご記入ください。

(4) 要件に該当するかの計算を行ってください。

i (3) で選択した基準額【(A)】	__ 円	i (3) で選択した基準額【イ】	__ 円
ii (2) の◎の数__ × 150,000円	__ 円	ii (2) の○の数__ × 60,000円	__ 円
iii (2) の○の数__ × 100,000円	__ 円	(○以外の氏名がない場合は、○の数を1つ減らして計算)	
◆収入基準額 (i + ii + iii)	__ 円	◆収入基準額 (i + ii)	__ 円
	V		V
◇年間収入見込額 (表面の③)	__ 円	◇年間収入見込額 (表面の③)	__ 円

→【要件2】③の年間収入見込額 (◇) が収入基準額 (◆) より低いこと。

※【要件2】を満たさない場合でも、「簡易な所得見込額申立書」(ピンク色)の要件を満たすことにより支給の対象となります。

【確認事項】(各項目のチェック欄(□)に『✓』を入れていただき、氏名をご記入ください。)

☐ 【要件1】及び【要件2】に該当します。	
☐ 収入額が分かる書類(給与明細書や年金額改定通知書等)を提出しています。	
☐ 今後1年間に収入の多い時期がある、臨時の収入がある時期があるなどの事情により、今後1年間の収入見込額が収入基準額を上回ることが明らかであるものではありません。	
☐ 本申立の内容に相違ありません。	
令和__年__月__日	申請者氏名__